

科目名称 (Subject)				担当教員 (Teacher)	
卒業研究 I				星 雅丈	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2 単位	4 年次	演習	専門研究から 持ち上がり	
授業の概要 (Course Description)					
<p>本科目では、まず、各学生がそれぞれの研究テーマを設定する。</p> <p>前期は、春期休暇中、および前期講義開始より、それぞれの研究テーマに応じた内容を以て、本年9月に開催される第43回日本診療情報管理学会学術大会への研究発表の口演演題エントリー、発表への準備活動を行う。</p> <p>そして、夏季休暇中に上記学会にて口演発表を行う。発表した研究成果を基盤として、後期科目「卒業研究 I - H」における卒業論文の執筆を行う。学会発表の準備活動において、目的・方法・結果については6割の完成を目標とする。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<p>本科目は卒業論文を執筆するための準備を完了することを第一目標とする。研究テーマを決める際に、論文や一般図書、新聞等を読み、基礎的な知識を得るとともに、論文の書き方の基本を理解し、また学会発表に対する想定質問集の作成によって、研究テーマに関する知識を深める。</p>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	ガイダンス： 年間計画の策定				
第 2 回	卒業研究のテーマの抽出： テーマの案を作成し、そのテーマの重要性をまとめる				
第 3 回	卒業研究のテーマの抽出： テーマ案の重要性が妥当であるかをディスカッションする。				
第 4 回	学会発表への演題登録： 学会発表演題の抄録作成と演題登録を実施する。				
第 5 回	卒業研究のテーマの検討： テーマの案の妥当性を検討する。				
第 6 回	卒業研究テーマの選択： 選択したテーマの調査手順の暫定スケジュールを検討する。				
第 7 回	文献調査手法の学習： どのような文献が役に立つかを学ぶ。				
第 8 回	文献調査手法の学習： 文献の具体的な調査方法を学ぶ。				
第 9 回	文献調査手法の演習： 実際に文献を調査し、必要な文献を収集する。				
第 10 回	収集した文献の妥当性検討： 収集した文献の妥当性を検討する。				
第 11 回	文献の引用方法の学習： 調査した文献をスライドや論文に引用する方法を学ぶ。				
第 12 回	卒業論文執筆スケジュールの決定： 卒業研究 II でのスケジュールを決める。				
第 13 回	卒業論文執筆スケジュールの決定： 前回のスケジュールを修正後、提出する。				
第 14 回	学会発表に向けての準備： 学会発表スライドの初版を作成する。				
第 15 回	学会発表に向けての準備： 学会発表スライドの初版を発表する。				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<p>ゼミには必ず出席すること。毎週開講するが、病院見学や先輩講演会など学科のイベントが入った場合には、その限りではない。資料・文献を読むことを厭わず、基盤となる知識の獲得に努めること。自宅にPCがない場合は、曜日・時刻関係なく星研究室にて作業を行うことを認める。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業研究のスケジュール提出 (50%) ・ 各回の報告 (30%) ・ 学会発表の準備活動 (20%) 	<p>秀 : 卒業論文Ⅱの計画が十分完成しており、各回の課題ができている。</p> <p>優 : 卒業論文Ⅱの計画ができおり、各回の課題が概ねクリアできている。</p> <p>良 : 卒業論文Ⅱの計画ができている。</p> <p>可 : 卒業論文Ⅱの計画が最低限できている。</p>
<p>テキスト (Textbook)</p>	<p>適宜資料を配布する</p>
<p>参考書・資料等 (Supplementary Reading)</p>	<p>適宜資料を配布する</p>
<p>備考 (Other Information)</p>	<p>本科目は学生が自主的に取り組みに参加することが前提である。決して傍観者になることなく、議論などに常に積極的に参加すること。(本科目は後学期開講「卒業研究Ⅱ」とセット履修となる)</p>
<p>教員との連絡方法 (Contact With Instructor)</p>	<p>講義や会議、あるいは出張などにより研究室に不在であることが多いため、火急の際には下記の連絡手段を用いてアポを取ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Email : hoshi-masatake@fukuchiyama.ac.jp ・ 携帯電話 : 090-1616-8855 (ショートメッセージ可)